

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容総論 General theory early childhood education curriculum		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・認定こども園の現状や実際の保育に触れていきながら、保育の全体的な構造や保育内容5領域を理解し、捉えていく。またそれと同時に保育内容の歴史的背景と変遷についても学んでいく。 ・子どもの発達段階に応じた特性や、生活や遊びの変化についても触れ、関わり方についても学んでいく。 				
授業の目標				
<ol style="list-style-type: none"> ①保育内容を保育事例の中から総合的にとらえることができるように、様々な事例をもとにグループディスカッションや発表、リサーチ学習などを通して具体的に学ぶことができるようにする。 ②保育事例を通して、判断力を伴った保育の展開を考えることができるようにする。 ③幼稚園教育要領と教育課程、保育所保育指針と保育課程を知り、保育の実践を考えることができるようにする。 				
授業の方法				
<p>実践事例を示しながら、解説していく。保育の専門用語や保育の歴史に関わる人物などは分かりやすく説明し、保育の知識を得る場とする。保育教具に触れる時間も設ける。保育所と幼稚園の保育現場理解に向けて映像資料を見る。授業内でのグループワークやディスカッション等、積極的に取り入れていく。</p>				
学習の成果(学習成果)				
<ol style="list-style-type: none"> ①保育の基本と保育内容の具体的な領域を理解した上で、乳幼児期の保育の重要性を説明することができる。 ②指導計画の基本的な構成を理解した上で、作成ができる。 ③様々な保育事例からの学びを通して、自分なりの保育活動や内容の提案ができる。 				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業概要(シラバスの説明、保育内容とは、授業の進め方と受講の仕方)			
第2回目	幼稚園・保育所・認定こども園の現状-5領域のねらい及び内容を踏まえて-			
第3回目	幼児教育・保育において功績のある思想家達 フレーベル・モンテッソーリ・倉橋惣三			
第4回目	幼稚園教育の開始と保育施設の整備			
第5回目	保育実践の歴史的背景と保育内容の変遷 - 各領域の変化と特性に応じた保育実践 -			
第6回目	乳幼児の発達と、子どもの生活と遊び - 身体・言葉・心の視点から -			

第7回目	言葉を使ったあそび - 領域言葉のねらい及び内容を踏まえて -	
第8回目	幼稚園教育要領・保育所保育指針を読み解く - 全体構造と指導上の留意点 - 小テスト	
第9回目	保育課程・教育課程と指導計画① 保育、幼児教育における計画と評価の意味	
第10回目	保育課程・教育課程と指導計画② 指導計画の作成（保育・教育課程を踏まえて）	
第11回目	保育課程・教育課程と指導計画③ 模擬保育と振り返り	
第12回目	多様な保育実践展開から考える - 言葉や表現を引き出す環境や保育者の在り方 -	
第13回目	幼児教育・保育現場における情報機器の活用 - 実践事例を通して考える -	
第14回目	小学校との連携 - 領域言葉と国語科のつながり -	
第15回目	幼小連携・幼小接続の現状と課題 - 5領域の視点から - 小テスト	
事前・事後学習	保育所保育指針・幼稚園教育要領を十分に読み込み、授業に臨むこと。また、日常的に新聞やニュースなどで保育や教育に関わるトピックスに注目し、時事に関する関心を高めてほしい。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	・授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。 ・協調性をもって授業に臨む姿勢。 ・準備・片付けなどに積極的に参加する
レポート	20%	指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。（詳細は授業内で指示する）
調査報告書	30%	実際の保育現場の一日の生活を調べる。（幼稚園、保育所各15点）
小テスト	30%	8回目と15回目に小テストを行う。（各回15点）
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
授業内で適宜資料を配布する。 ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省） 参考書：生活事例からはじめる 保育内容総論 神蔵幸子・宮川萬寿美編著（青踏社）		
履修上の留意点・ルール		
<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験（職種：プレイリーダー・研修講師、職歴：通算6年） ・意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。 ・指示されたレポート・調査報告書・冊子作成は、期日を厳守して提出すること。 		